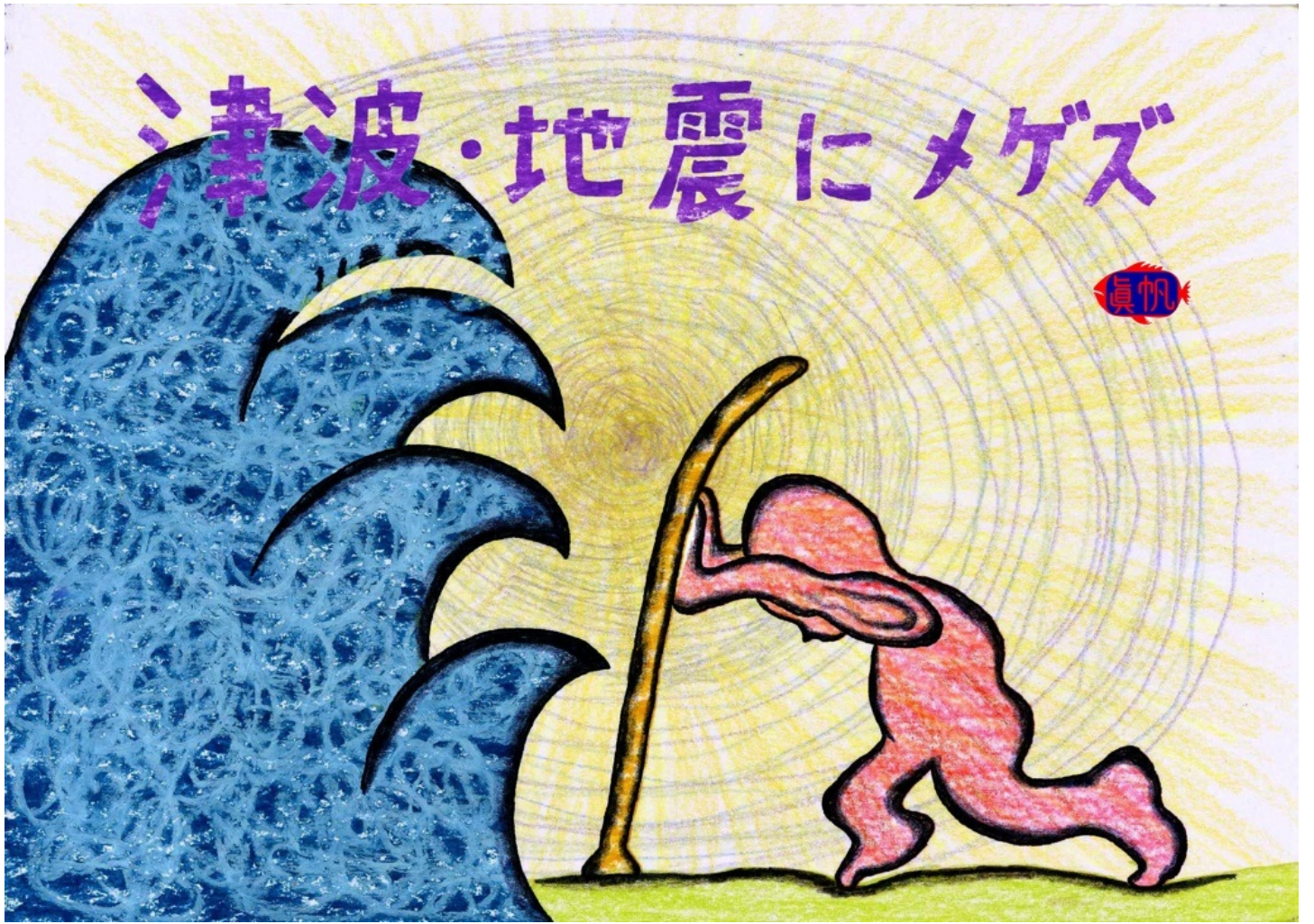


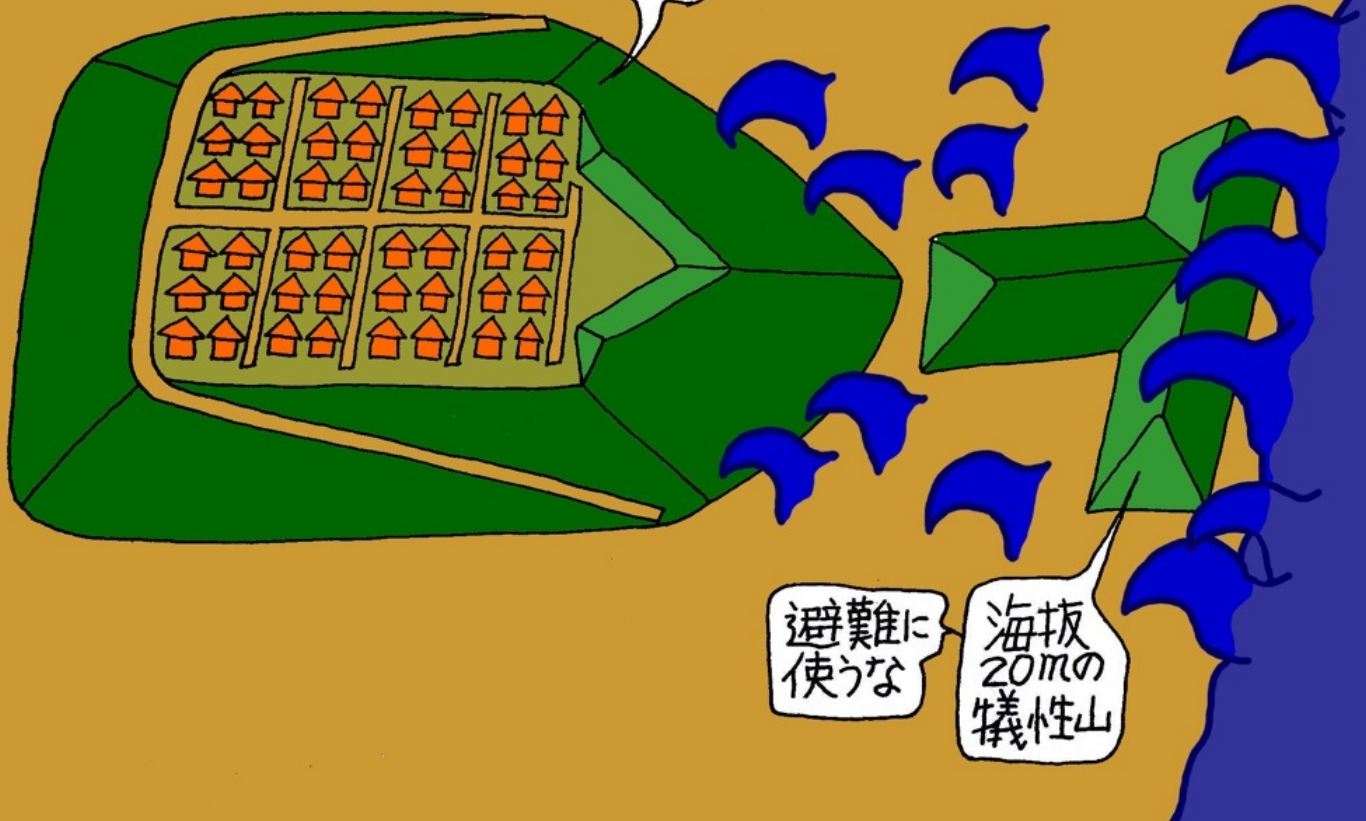
津波・地震にメゲズ



高さ10数mの津波でも、山を30数
m 駆け登るエネルギーがあるので、
海辺に軍艦島を造るには、海拔
50mは、家族・子孫が生き残るため
には、譲れないと思っていた。

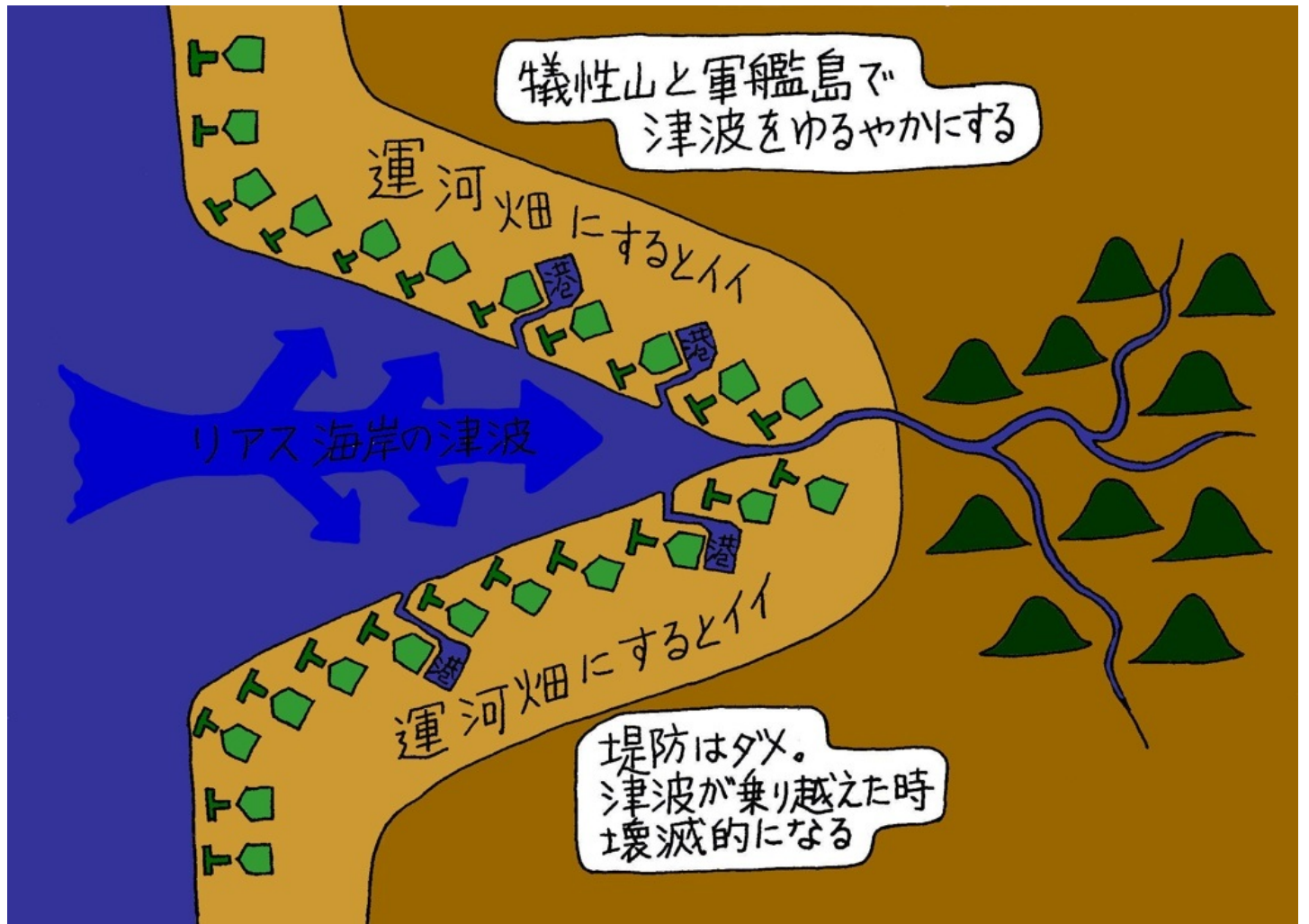
“競輪のトップ引き”が全風を受
けて、2番手が得をする方法と同
じで、海辺先立端に犠牲山を海
抜20mで造り、津波エネルギーを
殺してもらえば、その後の軍艦島は
海拔20mでイイかも知れん。

犠牲山の後の軍艦島は
海抜20mでイイかも？



避難に
使うな

海抜
20mの
犠牲山



犠牲山と軍艦島で
津波をゆるやかにする

運河畑にするとイイ

リアス海岸の津波

運河畑にするとイイ

堤防はダメ。
津波が乗り越えた時
壊滅的になる

<<〔三陸での“生活の場”を分離せよ〕>>

海辺でなければ成り立たない場

漁港、魚市場、魚加工所、
町村道路と輸送手段、
田畑、運河畑、

水没OKの避難シェルター設置
浮袋付スクーバヘルメットの携帯義務
坂を登れる電動自転車所有の
義務づけ(自動車避難禁止)

流されること前提の建屋、田畑、
運河畑を造り、津波に
ヤラしても、1年以内に再生
可能な国家補償制度有り

海辺でなくても成り立つ場

住居(寝るところ)、保育園、学校、
鉄道・駅と線路、商店、
工場、国道と輸送手段、

津波用堤防は安心感が
逆効果で避難しないからダメ。
堤防は台風用、高潮用で
“津波用でない”と明記し、
徹底させる。

海辺から離れ津波に合わない
高台居住、又は
出来れば、海辺でも津波でも
耐えられる高台居住(軍艦島)

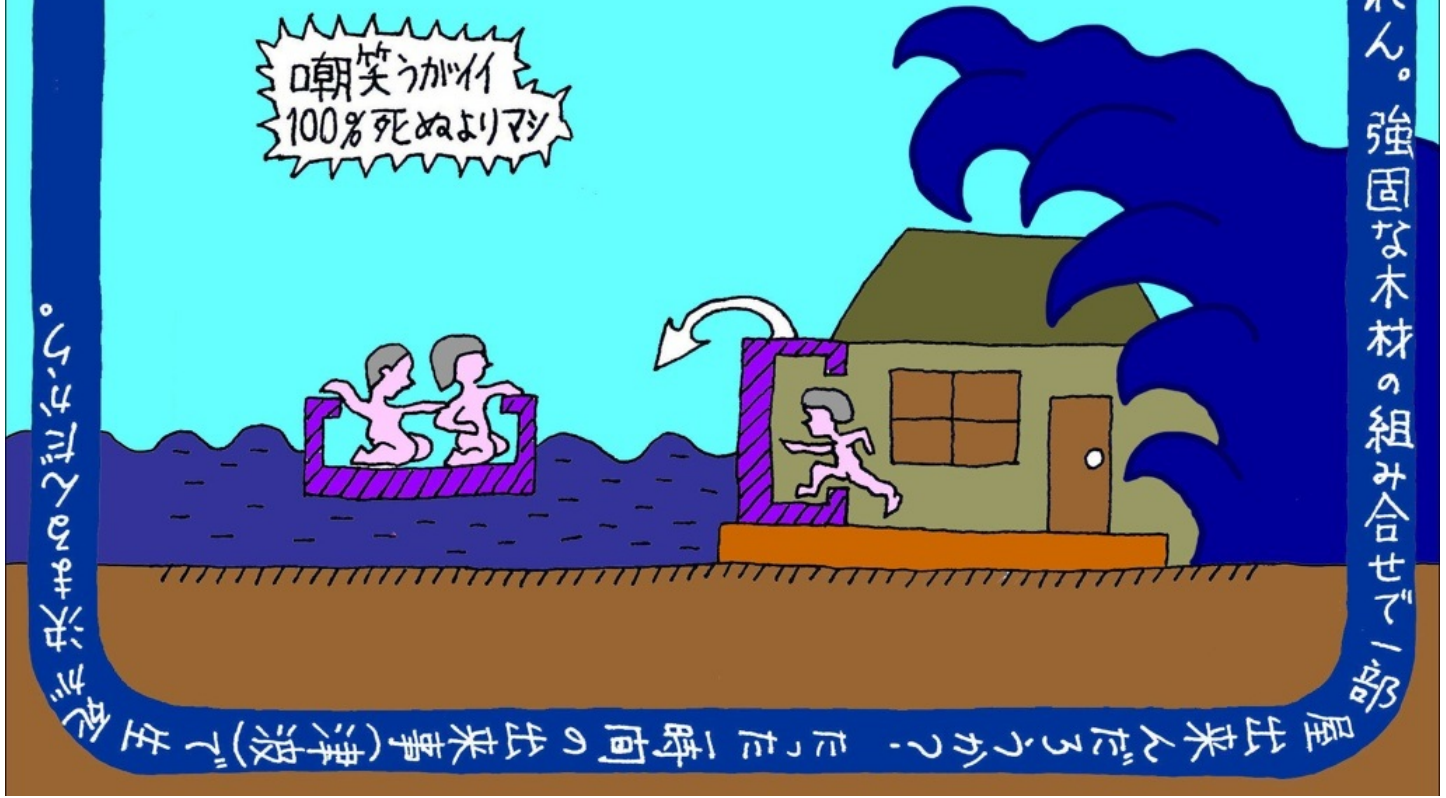
家屋が流れて行ってしまう。家屋を舟なら町へ運ぶことも

も知れん。強固な木材の組み合せて一部

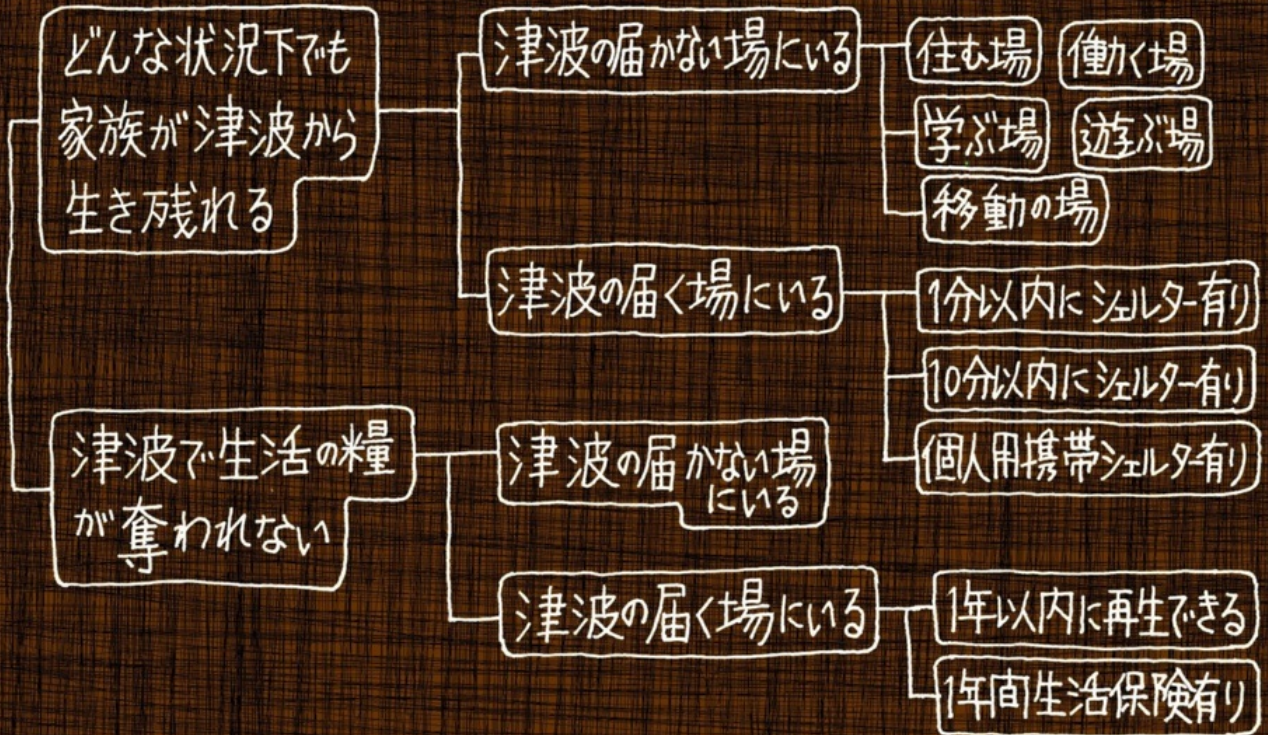
嘲笑うかイイ
100%死ぬよりマシ

。フナにのりあせ油が

屋が来るといふかん。まだ時間の出来事(津波)で生



★ 日本の海辺で生きて(生活して)いくための選択肢



★ 再生しようとしている三陸の皆さんへ

苦しいけれど、100年計画(3代)で、自立するしか、救われないのです。

★ これから、津波の洗礼を受ける〈神奈川〉〈静岡〉〈愛知〉
〈三重〉〈和歌山〉〈高知〉〈大分〉〈宮崎〉の皆さんへ

今住んでいる場所を捨てないと、貴方の家族・子孫は消えていきます。

いったい ぜんたい、オラが町の構造はどう
なってるの？ 生きていけん町か、どうか
ハッキリさせろ！

★ オラガ町を津波に勝つ構造に変えようよ!

- ① 津波に向って、海辺に海拔50mの軍艦島(高所住居)を造る。捨て島を設けた軍艦島は海拔20mでもイイかも?
- ② 平地 100m 間隔に水没津波用シェルターを点在させる。
(津波1分以内に走りこみせよ、水没30分間呼吸OK)
- ③ 津波で住居(生命)は助かるが、それ以外は全てパーとなる
思想教育をしておく。
- ④ 1000年に1度の生活保障をあらかじめ、国・県レベルで
決めておく。(人間の我慢の限界の1年間で再生できるようにする)
- ⑤ 軍艦島は津波で陸の孤島になっても、1ヶ月持ち堪えられる
ライフライン(水・電気・ガス)を備え、生活できる方法を決めておく)

- ⑥ 港・魚市場・ドックは津波にやられるが、流されない構造物にしておく。
- ⑦ 堤防は高潮用までとし、津波用は国費のムダだから造らないことを明言する。
- ⑧ 海辺の居住場所は軍艦島以外認めない。
津波に合っても助けないことを明言しておく。

以上の事は市民組織の津波防御プロジェクトが中心でやり、役所は補佐にまわる。そして、各個人の自助努力ですることとの境界をあらかじめ、明確に決めてから、このプロジェクトをスタートさせないとダメ。よりかかる人間バッカになってしまう。

軍艦島(高所住居)の配置

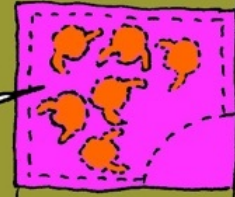


水没津波用シェルターの構造
(30分辛抱シェルター・且力かるかも?)

津波
方向

津波

1坪の
部厚い
コンクリの
水没津
波シェル
ターに何人
入れる?



水没時
空気が有
呼吸
30分
可能?

倒れない
シッカリ土台

